

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和 5年 6月16日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県佐賀市唐人二丁目5番25号TOJINシェアオフィス
団 体 名 特定非営利活動法人さが市民活動サポートセンター
代表者職・氏名 理事長 山田健一郎
電 話 番 号 080-9102-9746

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和4年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人 さが市民活動サポートセンター
- 2 事業実施期間 : 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

佐賀こども食堂の活動を通して「孤食」「心の貧困」の問題の解決を目指しながら、地域の子どもを育てていくことに取り組んでいます。

2022年の6月でついに7年目を迎え、小さい時から通ってくれているお子さんが小学生になったり、好き嫌いがあつたのが食べれるものが増えたりと、色んな成長も一緒に見ることが出来て、改めてこの活動を続けてきてよかったと嬉しく思います。

また、活動を継続するには、食品や野菜を提供して下さる支援者様や、一緒に頑張ってくれるボランティアの方々の協力があつてこそです。

しかし、一方でまだまだたくさんの課題があります。

子どもたちがたくさん参加してくれるのは、嬉しい反面、責任も伴い、コロナ禍ということもあり、制限した人数で頑張っているボランティアではどうしても目が届かないこともでてきたり。怪我や、物損など、完全にリスクをなくすことは難しいんです。

また、そうした中で、ボランティアの方たちが不安を抱き、せつかくの活動が継続できなかつたり、反対に保護者からの不安の声も。

私たちは、人間同士、ましてや子どもの行動は時に思いもよらない結果をうむこともあります。そんな時に、運営側も、参加する側も安心して、「また来月も楽しみにしてます」って言ってもらえるような、「また来月もボランティア参加します!」と言ってもらえるような、誰もが安心安全な「こども食堂」のしくみを作りたいです。

また、食品を提供するには必ずついてまわる、食中毒などへの不安。正しく、安全に提供するためには、ボランティアの方たちにも正しい知識を身につけてもらいたいし、そんな中で、次世代のボランティアリーダーも輩出していきたいです。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

「孤食」「心の貧困」の問題解決を目指しながら、地域の子どもを育てていきたいという思いから始めた「佐賀こども食堂」。

こども食堂が子どもも大人も一緒に食べられる「地域の公民館的存在になることで、年配の方や学生などの多世代が、地域で一緒になって子どもを育てていける場所になることを目指し取り組んでいます。

そんな中、コロナ禍で会食中止を余儀なくされ、運営側も含め人と人との交流が希薄になってしまいました。

それでも月に一回、継続して開催していくことにより、受け渡しの時に直接言葉を交わし、お子さん同士や親御さん同士、またボランティアの方とのネットワークも生まれ、第三者に話を聞いてもらえる大切な時間、場所となっています。

コロナ禍で状況が変化していく中でも、長く活動を続けていくために、運営側、参加者の子どもたちや親御さんのみならず、関わるボランティアの方々も安心安全に続けていける大切な場所となるための仕組みをつくり引き続き取り組んでいきます。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

5 寄附金活用事業実績：（別記1）

6 次年度繰越額活用見込み：（別記2）

7 寄附金活用額：（別記3）

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位：円]	うち寄附金 活用額 [単位：円]
(GCF) みんなにとって安心安全な「佐賀こども食堂」のための仕組みを作りたい	①誰もが安心安全な「こども食堂」の仕組みを作り、地域のコミュニケーションを目指す②佐賀県内在住のかた③こども食堂を開催するに設備を整える、ボランティアさんの食品似たしする勉強会、様々なリスクに備える	①令和4年（2022年）4月1日から令和5年（2023年）3月31日② 佐賀県内	597,373	597,373
計			597,373	597,373

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位：円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位：円]
(GCF) みんなにとって安心安全な「佐賀こども食堂」のための仕組みを作りたい	①誰もが安心安全な「こども食堂」の仕組みを作り、地域のコミュニケーションを目指す②佐賀県内在住のかた③こども食堂を開催するに設備を整える、ボランティアさんの食品似たしする勉強会、様々なリスクに備える	①毎月19日 ②佐賀市勤興公民館	789,794	789,794
計			789,794	789,794

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		1,598,667
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	1,598,667
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	1,432,569
	前年度控除額(県事務経費)還付分	166,098
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	0

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		808,873
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	597,373
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	211,500
	返礼品等の調達に係る費用	186,500
	返礼品等の送付に係る費用	25,000
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	0

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	789,794
-------------------------------------	----------------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://fields.canpan.info/organization/detail/1035571445#all>